



久保田彰孝 議員

国保税

夫婦とも39歳以下、就労者1人、就学児2人、年収400万円モデルケースでは、協会けんぽは年額20万2164円となるが、国保の場合の金額を伺う。また、国保税の減免について伺う。

国保税の場合は、年額31万3500円と試算している。18歳未満の均等割を全額免除した場合、市の負担は1387万5千円と見込んでいる。ただし、国は特定の対象者に、あらかじめ画一的な基準を設けて免除を行うことは適切ではないとする見解を示している。

ごみ集積所の増設

地域全体の高齢化に伴い、ごみ集積所の増設を望む要望が出されている。市の対応について伺う。

設置基準は原則としておおむね20世帯以上としているが、地域によって事情が異なる。事情を十分に聞き、必要性が高いと認められるものについて、運搬業務に支障がない範囲で設置を承認する。少子高齢化によって家庭からのごみ出しや集積所の管理に課題を抱えている事例が全国的に生じており、福祉関係の部署や関係機関と連携して取り組んでいく。

笹間第二小学校の活用

笹間第二小学校の跡地利用について、市独自の検討状況と地域住民等の利用、維持管理費の支援の有無について伺う。

市の施策の推進のために活用していく構想は現時点では持っていない。地域からは、地元住民や西南中学校の部活動、スポーツ少年団の使用を優先し、空いている時間に花巻東高校の部活動等に使用させるなどの要望が出されており、今後地域と協議していく。正式に方針が決まるまでの間、普通財産として市が維持管理を行う。

農業振興

酪農家の状況は、子牛価格の下落や飼料の高騰が続く深刻であることから、支援策について伺う。

市の事業として、乳用雄牛等の生産および出荷経費の約3分の1相当の一头当たり6300円を補助する乳用子牛等出荷緊急支援事業に、163万8千円を12月定例会の補正予算として提案している。飼料購入支援については、9月定例会で補正予算措置した飼料購入緊急支援事業として、4月から9月までの購入分を申請受付している。

奨学金返還補助制度

UIJターン促進のため奨学金返還補助制度を拡充する考えはないか伺う。

総務省の「奨学金を活用した若者の地方定着促進要綱」では大学等卒業後、当該市町村に居住する方やあらかじめ当該市町村に居住している方を対象に、市町村からの支出により奨学金返還を支援する制度が示されており、この制度を利用する場合、国から財政支援が得られる。市においても今後実施したいと考えている。

はなまき夢応援奨学金

はなまき夢応援奨学金を拡充する考えはないか伺う。

この制度は経済的事業により就学困難な学生の後押しをする経済的支援と、将来花巻市で活躍していただく人材の確保を目的としている。令和3年度の要件緩和により対象者数は増加しており、一定のニーズには対応しているが、認識しているが、家計の急変等に対応できるよう随時申し込みを可能にするなど見直しを図るよう検討していきたい。

JR花巻駅橋上化・東西自由通路の整備



照井 明子 議員

事業費35億円は、地元業者に発注されずJR指定業者のみ受注となる。本事業による地域経済への波及効果について伺う。

整備は、鉄道敷地内の工事であり、鉄道軌道工事の資格を有するJR指定の業者しか受注ができない。他の駅の事業の例で、3割から4割が地元業者に下請け発注されていると聞いており、地元業者への受注機会に期待している。また、多くの建設作業員による宿泊や飲食などの経済波及効果も期待できる。

スクールバス



保育園や学校の送迎バスでの子どもの置き去り事故が各地で発生している。運行における安全管理体制を伺う。

現在、運行管理マニュアル等で詳細に規定しているものはないが、他市における園児や小学生の置き去り事故発生後、運行業者に実施状況等聞き取りし、適切な対応を確認した。校長会議で安全管理について徹底を依頼し、利用児童には周囲に知らせる方法を伝えるなど、学校ごとに工夫して取り組んでいる。

大迫地域の道路環境の充実



伊藤 忠宏 議員

市内中心部から大迫地域への交通アクセスが悪いと指摘される場面が多いが、今後バイパス道路の建設など予定にないか伺う。

現在、市内中心部から大迫地域へのルートは、花巻空港駅前交差点、国道283号線、市道小舟渡矢沢線からの3つの代表的なルートがあり、各路線とも全て2車線を有し通行に支障はなく、県でも整備予定はないと伺っている。市道の整備は毎年300件以上の要望が各地域から出ており、市の財政的観点からも困難である。

有害鳥獣対策



有害鳥獣対策として電気柵を設置した圃場が被害を免れているが、平場における対策を伺う。

有害鳥獣の生息頭数を減らす対策として花巻市鳥獣被害防止計画において目標を定め、さまざまなシステムを導入し対策を強化している。平成24年に花巻市鳥獣被害対策実施隊を組織し、国と市の交付金を活用して捕獲活動を実施している。有害獣捕獲の実施体制の強化によりニホンジカ、イノシシ共に令和3年度は令和2年度実績を上回っている。

運行終了予定のSL銀河



鹿討 康弘 議員

県およびJR東日本釜石線の沿線自治体と運行継続に向けた取り組みを実施する考えはないか伺う。

沿線自治体による意見交換会では、県や市町が経費を負担し運行継続を図るような意見は出なかったことから、当市としても運行終了はやむを得ないものと考えている。しかし、JR東日本ではSL銀河終了後も新たな観光列車「陽旅（ひなび）」などさまざまな観光列車の運行により、釜石線エリアの活性化に取り組みとのことである。

新花巻図書館の建設候補地



候補地が駅前に決まった場合、すでに購入が決定している旧総合花巻病院跡地は遊休市有地となり、維持費が発生するが、活用について伺う。

JR東日本との交渉が折り合わない場合、病院跡地への建設が有力になる。駅前に決まった場合についても、病院跡地利用について早急に活用を決定する必要があるとは考えていない。市民の意見を聴き、市の活性化のために民間活用も考えながら、あらゆる可能性を検討していく。